

# 台東育英

VOL.21

台東区立台東育英小学校

No. 9

校長 瀬下 清

<http://www.taitocity.net/taitouikuei-s/>

冬季オリンピック・パラリンピック

副校長 原 之雄

連日厳しい寒さが続いています。先日の朝は久しぶりに氷点下の日が続き、冬本番を実感している毎日です。

そんな中、まもなく四年に一度の冬季オリンピック・パラリンピックが北京で開幕します。女子スピードスケート1500メートルでワールドカップ開幕3連勝中、世界記録保持者の高木美帆選手は、オリンピックで悲願の個人金メダルを獲得することができるのか、現在ワールドカップ6勝のスキージャンプ、小林陵侷選手は、本番でも胸のすくような大ジャンプを見せてくれるのか、今から楽しみにしている方も多いのではないのでしょうか。

かつて、オリンピックで印象的な光景を目にしました。ある日本の選手が、勝負に敗れ、下を向き、号泣しながらインタビューに答えています。「金メダルが取れなくて残念です。情けないです。申し訳ありません・・・。」そんな言葉であったと記憶しています。

その言葉からは、くやしき、無念さがひしひしと伝わってきました。何が何でも金メダルを取りたかったのだろうか・・・。そんなことを思いつつ、一方で別のことも考えました。「自分の為したことにもっと誇りをもってもよいのではないか。下を向くのではなく、もっと胸を張ってもよいのではないか。」

この選手は、きっと金メダルを取る実力があつたのでしょう。そしてそのための努力、自分の生活の全てを捧げるような大変な努力、練習を積み重ねてきたのでしょう。だから悔しくて、悲しくて・・・という考え方もあります。しかし、だからこそもっと自分に誇りをもってもよいのではないか、とも思うのです。

自分ではできる限りの準備をした。試合でも正々堂々、全力で戦った。その結果敗れてしまった。であったのなら、その結果を何も恥じることも悔いることもなく、堂々と上を向いて胸を張ってほしい。それこそが本当に強い選手ではないかと。

うまくいくこともあれば、うまくいかないこともあります。そのどちらもが自分。そして自分の人生。その両方を引き受けて胸を張ってほしい。そんなことを思った記憶があります。

1月15日(土)には、持久走記録会がありました。昨年秋から、人によってはそのずっと前からコツコツと練習を積み重ねてきた記録会でしたが、そこには人との比較ではなく、自分の目標に向かって頑張る姿がありました。走るのが得意な子も、そうでない子も全力で最後まで堂々と走りきり、互いに互いを応援する姿がありました。

勝っても負けても自分に誇りを持ち、同時に相手に敬意をもてる台東育英小学校の素晴らしい子供たちを、私はとても誇りに思いました。

## \*お祝い申し上げます\*

この度、学校安全ボランティアの **赤木健一さん** が、台東区教育委員会から、ボランティアの活動が特に顕著であることに対し、感謝状が贈呈されました。心より、感謝申し上げますとともに、お祝い申し上げます。

## 「台東区立小・中学校みんなの作品鑑賞会」について

図画工作専科 上崎 美佳

毎年行われる区展の代替として、本年度はタブレットPCを活用した作品鑑賞会が2月中旬から行われることになりました。台東区内の小・中学校の代表作品を、授業中の時間を活用し、学校のみでの鑑賞になります。「書写」「図工」「家庭科（5・6年）」の作品の中から各クラス2名ずつ代表で選ばれます。図工の作品は、1年間取り組んだ活動の中から作品を選出しました。初めて出会った色・形に心動かされながら、自分なりの「いいな」を探してできた作品です。つくり、つくりかえ、様々なことを試しながら取り組んできました。自分や友達、また他の学校の友達の作品鑑賞を通して豊かな心が育つ取り組みになるよう願っています。本年度は保護者の方の参観は叶いませんでしたが、年度末に作品を持ち帰った際には、作品についてたくさん話を聞いていただけると有難いです。

### 特色ある教育活動

特色ある教育活動推進委員会 鈴木 祐衣子

本校では授業の終わりのあいさつの際に、日直が一時間毎の授業の振り返りを述べています。児童が自分の言葉で振り返ることで、その時間に学んだことや次の授業への課題を、よりしっかりと意識することができます。こうした実践を低学年から積み重ねていくことで、学年が上がるにつれ、振り返りの内容も深まっていくようです。

放課後学習教室では、学力向上ティーチャーが中心となって学習内容を計画しています。児童がつまずきやすい内容を中心に、プリント等を用いて個別指導を行っています。

家庭学習・生活習慣では、ご家庭の協力を得ながら、早寝早起き・朝ごはん等の生活リズムを意識し、学習の目標時間を決めて家庭学習に取り組みます。日頃の学習活動へのサポートに感謝いたします。今後もご協力よろしく願いいたします。



### 持久走記録会について

体育主任 坂倉 実

先日の15日、晴天の中、持久走記録会を行いました。マラソン大会は2年連続の中止となっており、努力してきた成果を発揮できる場を持久走記録会という形で開催できて本当に良かったと思います。しかし、新型コロナウイルスの影響により、保護者の皆様の参観が叶いませんでした。来年こそは、友達や保護者の皆様の応援を受けながら走れたらいいなと思います。

児童たちは「自分のペースを守って走る」など目標を決めて、2学期から練習を始めました。冬の冷たい空気の中、長い距離を走ることは苦しく、苦手に感じる児童も少なくないかもしれませんが、息が上がって、苦しい状態が続いても、それを乗り越えようと頑張っていく姿がたくさん見られました。

また、低学年は高学年とペアになってそれぞれの周回数を数えてもらいました。体力以外の面での成長も見られ、改めて行事の大切さを感じました。体調面等の保護者の皆様のご協力、本当にありがとうございました。



## 10歳までのあゆみ ～4年生の取り組み～

4年担任 松崎かおり

4年生の子供たちは、3月までに10歳の誕生日を迎えます。これまでの成長を振り返り、10歳の自分を見つめ直す学習に取り組んでいます。そして、総合的な学習の時間を活用し、タブレットPCに「10歳までのあゆみ」と題して、家の方への感謝の気持ちや夢に向かってこれから頑張っていくことなどについてまとめています。

活動の中で、タブレットPC操作に戸惑っている友達に優しく声をかけたり、自分の気持ちを分かりやすく表現する方法をアドバイスしたりと、友達を助けようとする姿が多く見られ、子供たちの成長を感じます。

4年生の子供たちの成長の様子を見られることは、担任としても大きな喜びです。

変化の激しいこの時代に、やがて成人を迎えた子供たちが、4年生のこの学習を振り返り、子供時代を思い出して「夢や希望に向かってこれからも努力しよう。」と改めて思えることを、心から願っています。



## 想い描く2年生 ～1年生の取り組み～

1年担任 林 和世

4月に入学した1年生。台東育英小学校の末っ子でいるのも残り少なくなりました。

1年生を迎える会、体育発表会、校外学習、持久走記録会、席書会など、さまざまな行事を通して、台東育英っらしさを身に付けてきました。自分からすすんで元気に挨拶ができる子、体いっぱい動かし、誰とでも仲良く遊べる子、よく話を聞き、自分の考えを発表する子、好き嫌いをせず給食を食べる子など、できることが増え、1年生として頑張ってきたことが自信となってきたところではあります。

そんな1年生もあと2か月で2年生となり、新しい1年生の先輩になります。どうしたら思い描く2年生になれるのかを意識しながら、学校生活を送っています。3学期はさらに、新1年生を迎えるための準備をしていきたいと思えます。4月に入学してくる新1年生のために、教室に掲示する絵を描いたり、飾りを作ったりしていきます。新1年生が喜んでくれるように、何ができるのかを考え、活動していきます。その活動を通して、思い描く2年生へと進んでほしいと願っています。